

AD-21 ショートバイザー 取扱・取付説明書

適応機種

アドレスV125S (UZ125SLO)

アドレスV125Sベーシック (UZ125SULO)

- 販売店様へ
この取扱・取付説明書は、必ずお客様にお渡し下さい。
- お客様へ
この取扱・取付説明書は、必ず保管してください。

このたびは、AFスクリーンをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をお読みいただき、いつも手元に置いて、正しい取扱方法により
永くご愛用くださるようお願い申し上げます。

製造：株式会社 旭精器製作所
発売元：株式会社 旭精器製作所
住所：東京都足立区舎人2-16-21
TEL：03-3853-1211

部品構成表

No	部品名称	QTY	No	部品名称	QTY
①	ショートバイザー	1	⑥	トラスビス M5x20	4
②	ステー L	1	⑦	ブレンワッシャー 5mm	4
③	ステー R	1	⑧	ゴムワッシャー 5mm	4
④	セッティングボルト M10x24 (左側用)	1	⑨	ウェルナット C-550L	4
⑤	セッティングボルト M10x28 (右側用)	1	⑩	取扱・取付説明書	1

スクリーン取扱について

⚠ 注意

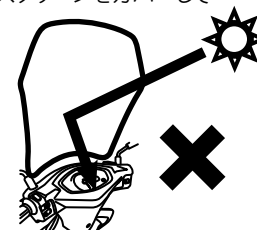
- 1：風の強いときには、走行安定性を欠く恐れがありますので、ご注意ください。
また、駐車の際は安定した場所に停めてください。
降雨、降雪時には視界が悪くなりますので、ご注意ください。
- 2：取付状態を時々点検し、各部のゆるみ、ガタ等がないようにご注意ください。
- 3：車体カバーはスクリーン付用を使用し、スクリーンに無理な力がかからないように
ご注意ください。
- 4：車体カバーを使用するときは、高温下で放置しますとカバー内に熱がこもり
スクリーンが変形する恐れがありますので、
風通しの良い場所に駐車してください。
- 5：スクリーンは中性洗剤、もしくは石けん水を使い、柔らかい布で汚れを落とし、
水で洗い流してください。
ガソリン、シンナー等有機溶剤、コンパウンド入りクリーナー等は使用しないでください。
- 6：スクリーンのお手入れは、高級クリーナークロス (AF-04) (推奨品) の使用をお勧めします。
使用上の注意をよくお読みになりご使用ください。
- 7：ひび割れたスクリーンは使用しないでください。
- 8：スクリーンに直射日光が当たらないように駐車してください。スクリーンの構造上、
光を集める性質が有る為、駐車の際は、風通しのよい日陰に駐車してください。

⚠ 警告

- 1：各ビスナットは、確実に締めてください。
- 2：締付けが不確実な場合、走行中に脱落し、自分または後続車の乗員や歩行者を、
死亡または重大な傷害に至らしめる可能性が高くなります。

— スクリーン反射集光の警告 —

- スクリーンに直射日光が当たらないように駐車してください。
スクリーンが凹面鏡になり、反射集光した太陽光が発熱し 車両のカバーなどを変形させる
恐れがあります。
- 直射日光が当たる場所に駐車する場合は、柔らかいタオルなどでスクリーンをカバーして
直射日光が当たらないようにしてください。



取り付け方法

I

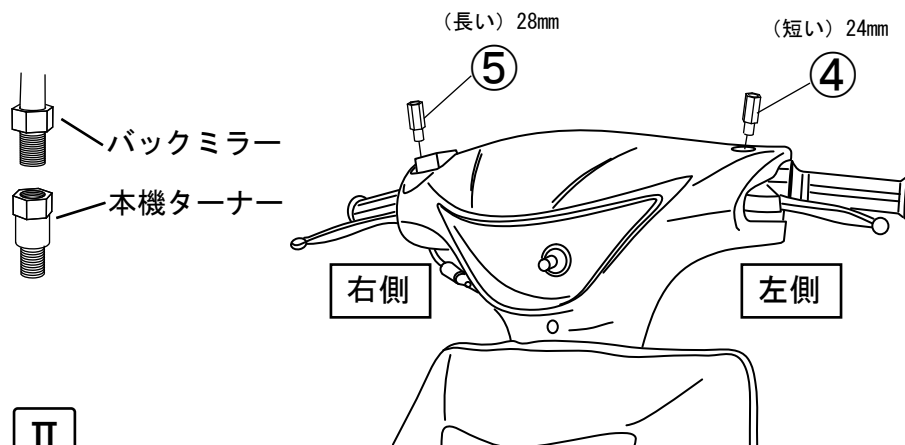
はじめに、本機バックミラー（本機ターナー付）を取り外します。

次に、図の様に《左右有り》

左側は ④セッティングボルト24mm（短）を取り付けます。（本締め）

右側は ⑤セッティングボルト28mm（長）を取り付けます。（本締め）

※右と左で長さが違いますので注意して下さい。



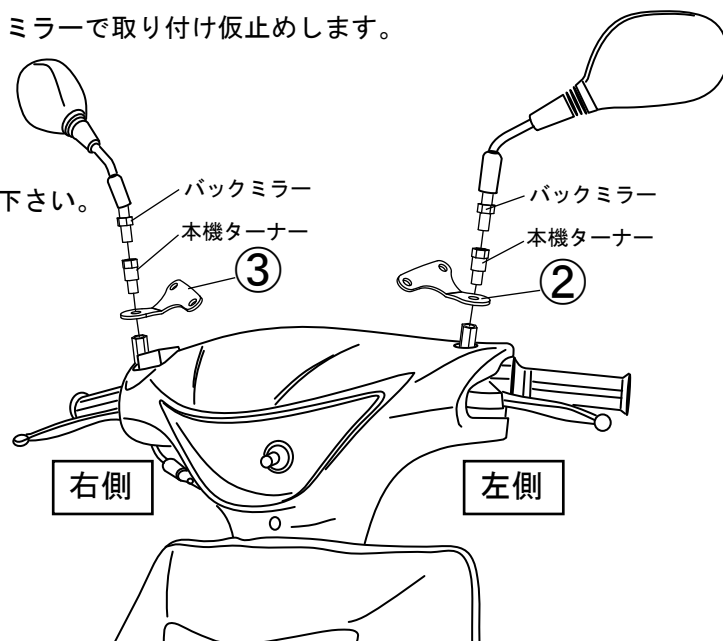
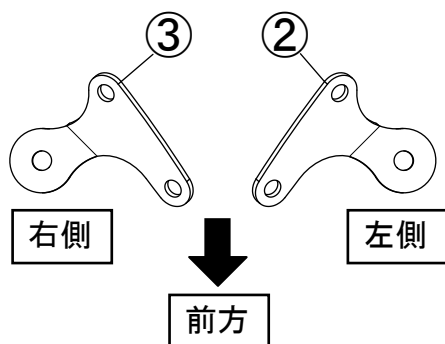
II

次に、図の様に《左右有り》

② ③ステーを、本機のターナーとバックミラーで取り付け仮止めします。

※ステーには向きが有りますので注意して下さい。

図を参考にしてください。



III

次に② ③ステーに、⑨ウェルナットを挿しこみ①ショートバイザーを

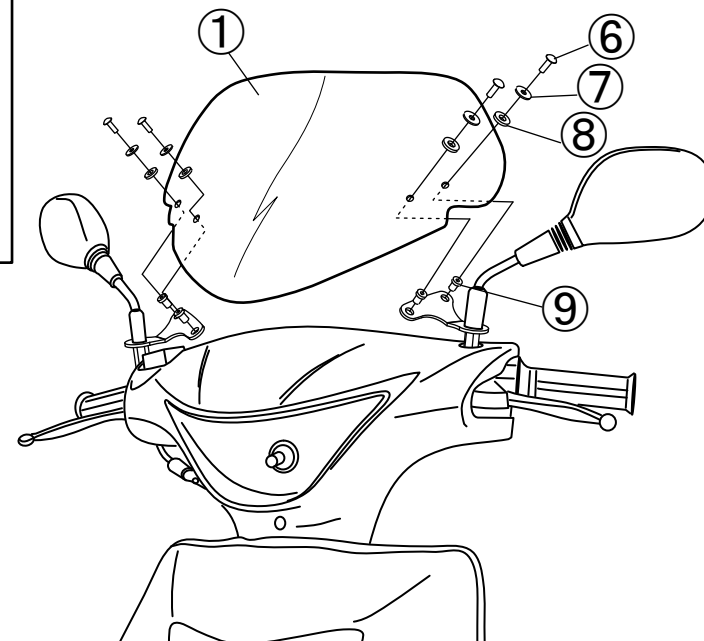
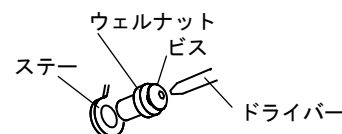
⑥トラスビス、プレーンワッシャー、⑧ゴムワッシャーで取り付けます。

仮組みしてある ② ③ステーを仮組みした部品が大きく動かないように押さえながらボルトナット類を確実に締め込みます。

最後に前後左右のバランスを調整をし、本機カバーとシールドのすき間を10mm位あけボルトナット類を確実に締め込みます。

アドバイス

ステーに ⑨ウェルナットが差し込みにくい場合は、ウェルナットにビスを少しねじ込みドライバーを使って差し込むと入れやすいです。



警告

組付け後と走行前に取り付け状態を点検し各部のボルトが確実に締め付けられているか確認してください。

締付けが不確実な場合、走行中に脱落し自分または後続車の乗員や歩行者を死亡または重大な傷害に至らしめる可能性が高くなります。

バックミラーの取り外し方

各取説に、『本機のバックミラーを取り外します。』とあります
バックミラーの取り外し方を追加説明いたします。

2007年以降の純正のバックミラーの
構成は一部を除き下記図の様な仕様になっています。

バックミラーを取り外すときは、下記の図の様に
ターナーごと取り外してください。

